

農業・資源経済学専攻
博士後期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和 8 (2026) 年度東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。

農業・資源経済学専攻の選抜試験（A 日程・B 日程）は筆記試験、口述試験とも対面では行わない。そのため、海外在住者であっても来日の必要はない。

< A 日程 >

1. 出願期間

令和 7 (2025) 年 6 月 18 日（水）10 時から 6 月 24 日（火）17 時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

出願時に、1) 農業経営学、2) 経済学、3) 農業経済学、4) 農政学、5) 開発経済学のうち 3 科目を選択し、選択した科目ごとに小論文を提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。（注）出願者数によっては TOEFL スコア、専門科目（小論文）に基づく事前選抜を行う可能性がある。

専門科目の試験は小論文形式で行う。課題は、日本語および英語で出題する。解答は問題指示文に指定のない限り、日本語または英語で行うこと。願書提出後に、専門科目ごとの小論文課題を送付するので、出願時に届け出た専門科目の小論文を作成し、定められた期日までに提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

（注）出願者数によっては、TOEFL スコア、専門科目（小論文）に基づく事前選抜を行う可能性がある。詳細は受験者心得を参照のこと。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

3. 口述試験

試験はオンライン形式で行う。口述試験の際の使用言語は、日本語または英語を出願者が選択できる。提出論文と研究計画についてあわせて 8 分程度の報告が求められる。

4. 試験期日

口述試験は、令和 7 (2025) 年 7 月 28 日（月）～ 8 月 22 日（金）の 1 日ないし 2 日間で実施する。

試験日時その他の詳細は、令和 7 (2025) 年 7 月上旬に送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」及び本入試案内「7. その他 (2)」に従い、ア～ス
を提出すること。「ス 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

確認書	・ 令和8(2026)年3月31日までに修士課程修了見込み以外の者は提出すること。 ・ 所定様式使用に限る。本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) よりダウンロード すること。 ・ Web出願システムにPDFをアップロードすること。
-----	---

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、
募集要項「7. 提出書類」の「シ 10月入学希望申請書」を出願期間中に Web 出願システム
にアップロードすること。

7. その他

(1) 本専攻は A 日程と B 日程のそれぞれにおいて、第1次試験と第2次試験を区別せずに同一
日程内で実施する。A 日程に出願する者は、令和7(2025)年9月以前に修士課程を修了した
者あるいは修了が見込まれる者に限る。なお、志願者は出願前に志願指導教員へ必ず連絡を
取らなければならない。

(2) 次表に基づいて必要な外国語及び専門科目を選択すること。

出願資格者			外国語 (英語)	専門科目	論文提出	口述試験
一般選抜	I	本専攻で2026年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者	免除	免除	報告は専攻の論文審査会で実施	実施
	II	東京大学大学院で2026年3月31日までに修士学位又は専門職学位を得る見込みの者又は得た者のうちI以外の者	免除	2科目	修士論文1部提出	実施
	III	I、II以外の出願資格者	英語 (TOEFL スコア)	3科目	修士論文1部提出	実施
社会人特別選抜	I	本専攻で2026年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者	免除	免除	報告は専攻の論文審査会で実施	実施
	II	東京大学大学院で2026年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者のうちI以外の者	免除	2科目	研究成果と研究計画に基づき口述試験を実施	

	III	I、II 以外の出願資格者	英語 (TOEFL スコア)	3 科目	研究成果と研究計画に基づき 口述試験を実施
--	-----	---------------	----------------------	------	--------------------------

(注) 論文、報告書、要旨（日本語または英語）はデータで提出すること。論文や報告書が日本語又は英語以外でかかれている場合は、英語の抄訳も併せて提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

なお、口述試験においては、提出された論文または報告書と研究計画（社会人特別選抜のみ）についてあわせて8分程度の報告が求められる。報告用資料（レジュメ等）は定められた期日までにデータを提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

(3) Web 出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄に選択する科目名を必ず入力すること。

④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選拔出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(4) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願2週間前には第1志望の教員へ連絡を取ること。

(5) 過去問題の入手方法は、農業・資源経済学専攻のウェブサイト参照すること。

(6) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、農業・資源経済学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(7) 本研究科の入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

<B 日程>

1. 出願期間

令和 7 (2025) 年 11 月 20 日 (木) 10 時から 11 月 26 日 (水) 17 時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語 (英語)

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語 (英語) 試験について」を参照のこと。

(2) 専門科目

出願時に、1) 農業経営学、2) 経済学、3) 農業経済学、4) 農政学、5) 開発経済学のうち 3 科目を選択し、選択した科目ごとに小論文を提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

専門科目の試験は小論文形式で行う。課題は、日本語および英語で出題する。解答は問題指示文に指定のない限り、日本語または英語で行うこと。願書提出後に、専門科目ごとの小論文課題を送付するので、出願時に届け出た専門科目の小論文を作成し、定められた期日までに提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

(注) 出願者数によっては、TOEFL スコア、専門科目 (小論文) に基づく事前選抜を行う可能性がある。詳細は受験者心得を参照のこと。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

3. 口述試験

試験はオンライン形式で行う。口述試験の際の使用言語は、日本語または英語を出願者が選択できる。提出論文と研究計画についてあわせて 8 分程度の報告が求められる。

4. 試験期日

口述試験は、令和 8 (2026) 年 1 月 29 日 (木) ～ 2 月 6 日 (金) の 1 日ないし 2 日間で実施する。

試験日時その他の詳細は、令和 8 (2026) 年 1 月上旬に送付する受験者心得で通知する。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」及び本入試案内「7. その他 (2)」に従い、ア～スを提出すること。「ス 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

確認書	・ 令和 8 (2026) 年 3 月 31 日までに修士課程修了見込み以外の者は提出すること。 ・ 所定様式使用に限る。本研究科ホームページ (https://www.a.u-tokyo.ac.jp/grad/grad_applicants2.html) よりダウンロードすること。 ・ Web 出願システムに PDF をアップロードすること。
-----	--

6. 10 月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和 8 (2026) 年 10 月入学を希望できる。希望者は、募集要項「7. 提出書類」の「シ 10 月入学希望申請書」を出願期間中に Web 出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) 本専攻は A 日程と B 日程のそれぞれにおいて、第 1 次試験と第 2 次試験を区別せずに同一日程内で実施する。B 日程に出願する者は、令和 8 (2026) 年 3 月 31 日以前に修士課程を修了した者あるいは修了が見込まれる者に限る。なお、志願者は出願前に志願指導教員へ必ず連絡を取らなければならない。

(2) 次表に基づいて必要な外国語及び専門科目を選択すること。

出願資格者			外国語 (英語)	専門科目	論文提出	口述試験
一般選抜	I	本専攻で 2026 年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者	免除	免除	報告は専攻の論文審査会で実施	実施
	II	東京大学大学院で 2026 年 3 月 31 日までに修士学位又は専門職学位を得る見込みの者又は得た者のうち I 以外の者	免除	2 科目	修士論文 1 部提出	実施
	III	I、II 以外の出願資格者	英語 (TOEFL スコア)	3 科目	修士論文 1 部提出	実施
社会人特別選抜	I	本専攻で 2026 年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者	免除	免除	報告は専攻の論文審査会で実施	実施
	II	東京大学大学院で 2026 年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者又は得た者のうち I 以外の者	免除	2 科目	研究成果と研究計画に基づき口述試験を実施	
	III	I、II 以外の出願資格者	英語 (TOEFL スコア)	3 科目	研究成果と研究計画に基づき口述試験を実施	

(注) 論文、報告書、要旨（日本語または英語）はデータで提出すること。論文や報告書が日本語又は英語以外でかかれている場合は、英語の抄訳も併せて提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

なお、口述試験においては、提出された論文とまたは報告書と研究計画（社会人特別選抜のみ）についてあわせて8分程度の報告が求められる。報告用資料（レジュメ等）は定められた期日までにデータを提出すること。詳細は小論文課題送付時に指示する。

(3) Web 出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員欄は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ専門分野と教員名を入力すること。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③試験科目欄に選択する科目名を必ず入力すること。

④履歴事項は修士課程修了(見込み)までを入力すること。また、社会人特別選拔出願者は職歴を入力すること。

⑤学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(4) 研究テーマのマッチング等を確認するために、出願2週間前には第1志望の教員へ連絡を取ること。

(5) 過去問題の入手方法は、農業・資源経済学専攻のウェブサイト参照すること。

(6) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、農業・資源経済学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(7) 本研究科の入学試験については、募集要項及び専攻入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。